



「ふくしま地球市民フェスティバル2003」に参加

国際交流協力事業の一環として、3月2日郡山市で地球市民フェスティバルが開催され、当会も参加しました。フレンドシップ広場には30団体が参加し、来場者も多数ありました。今回の特徴は、イベント主催者から手伝いとしてボランティアスタッフが派遣されたことです。当会には、高校2年の女学生が来てくれました。

また、来場者の中には、「ソマリアの心の傷あと」を読んだ大学生がソマリアに関心を持って訪ねてくれました。

日本在住のソマリアの人達と交流

昨年3月、東小金井市でのバザーの手伝いに来てくれたカディージャさんとは、2~3ヶ月に1回の割合で交流を深めてきましたが、昨年11月には、国連機関の職員として来日中のソマリア人女性（ファティマさん）を紹介していただくことが出来ました。彼女は、91年政権崩壊時に国外に脱出し、それ以来ソマリアには戻ったことがありません。97年後藤・山田がソマリア訪問時にとったビデオを彼女は食い入る様に、懐かしく見ていました。

他には1989年に、18歳でバングラデシュに移り獣医の資格を取得後、4年前に来日したスグレさん。タイ経由で来日し、コンピュータ技術の習得に励むマハドさんなどです。彼らの家族は、ケニアの難民キャンプに今もいるとのことで、歴史に翻弄されている彼らの姿には、心が痛むばかりです。

しかし、アルバイトをしながら学費を稼ぎ手に職をつけようと一生懸命に頑張っている姿には感動を覚えます。



お知らせ

「アフリカンフェスタ 2003」に出展

時：5月17日（土）、18日（日）

場所：日比谷公園

編集後記

「ハートソング」の著者マティ・ステバネク君をご存知ですか。生まれながらの筋ジストロフィーながら、兄の死をきっかけに詩作をはじめ1999年、メリンダ・ローレンス国際図書賞を送られました。

詩の一部を紹介します。

神さま、今夜僕は世界のために祈ります。

僕たちはこの争いをやめなければいけません。

この戦争を。

武器をおいて

心の平和を見つけて、

言い争いをしたり、憎みあうのをやめて、

良い行いに気づかないと・・・

神様のことを思いだしたら、

お祈りを始めるかも知れない・・・